

【取組内容⑤】「オンラインやオンデマンド等を活用した校区学校園所との連携」

◆概要◆

本校が所属する京都府北部の京丹後市では、保幼小中一貫教育構想のもと、市内6町がそれぞれ分離型一貫教育校として「学園」を形成し教育活動を進めています。当地域は人口の少ない広域にわたる地方部のため、同じ学園内においても対面の共同した活動が難しく、コロナ禍に関わらずICTの活用は不可欠のものとなっています。加えて言えば、DXの推進により学園のまとまりはより強固なものとなり、一方で学校園所の独自性や強みを生かした教育・保育の推進も充実していくという、予想を超えるメリットも明確になってきました。

◆実践事例◆

コロナ禍におけるオンライン対応はもちろんのこと、効率的な児童会・生徒会の合同会議の実施、学園内の園所学校教職員のためのオンライン研修会の実施などは、移動時間を削減したり、常時保育を続ける園所職員にも研修の機会を提供するなど、対面型にはない有効性も検証することができました。

また、オンデマンドや動画配信などは、教員や児童生徒のスキル向上により、対面では得られない情報量や表現力も魅力となり、教師のみならず、子ども同士のネットワークの構築と活性化も実現しています。



体育館と別会場を結んだコロナ禍の卒業証書授与式



久美浜学園児童会・生徒会合同定例会議(1中学校3小学校)



←  
 コロナ禍における、校区内1中学校、3小学校、3園所合同のオンライン夏季全体研修会(双方向による研究協議・交流を含めた研修会を開催)



SDGsの取組の協力を園所に発信



中学校入学に当たっての質問に回答